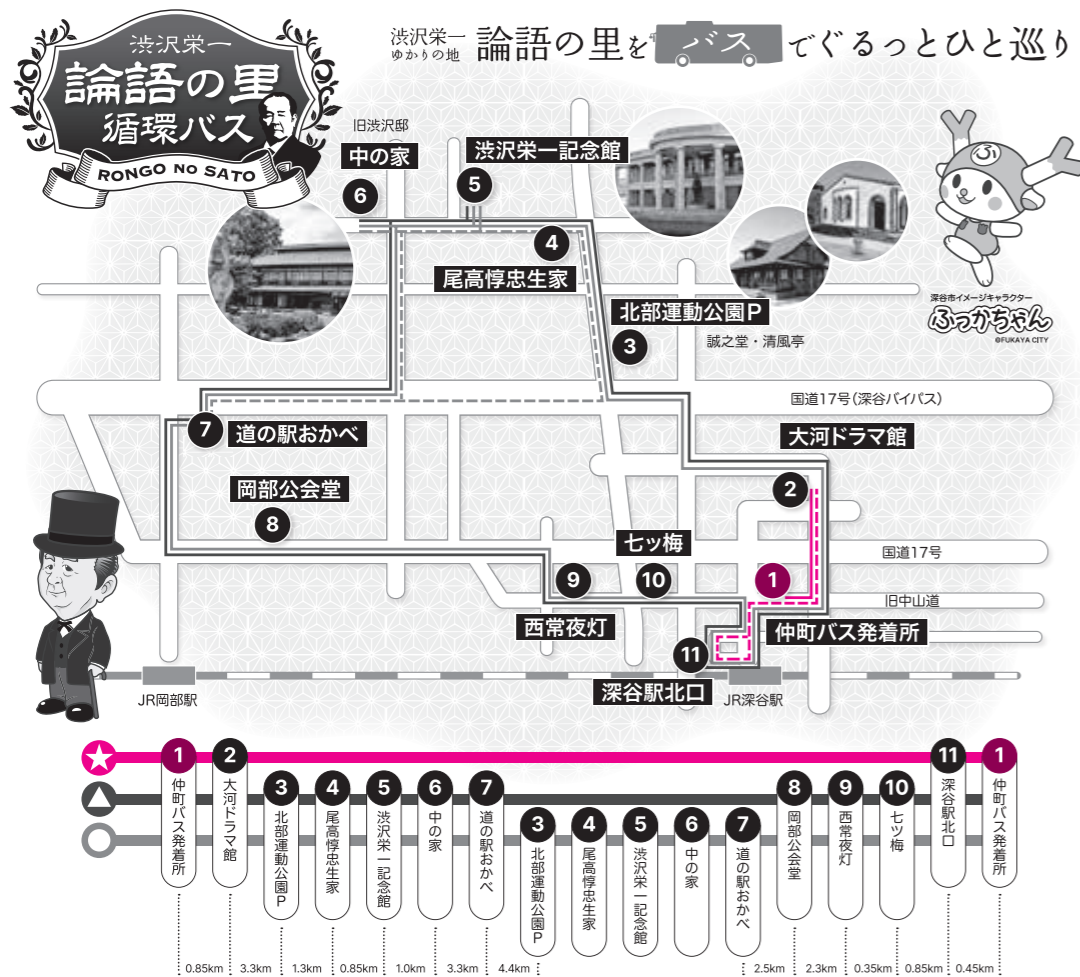


新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします



1日乗車券 (当日限り・乗降自由)
 大人 500円 中学生以上
 子ども 250円 *未就学児は無料

1回乗車券 (1回限り)
 大人 250円 中学生以上
 子ども 120円 *未就学児は無料

最新情報は公式ホームページで発信中!
 深谷大河ドラマ館の最新情報は公式ホームページで発信中です。右のQRコードからアクセスできます。また、公式ツイッターでも情報を発信しています。



▲渋沢栄一関連施設MAP

栄一翁関連施設を巡る
『渋沢栄一 論語の里 循環バス』 運行開始

問い合わせ 渋沢栄一政策推進課 ☎577-5061



深谷大河ドラマ館の開館に合わせて渋沢栄一翁関連施設をひと巡りできる『渋沢栄一 論語の里 循環バス』の運行を開始しました。

「仲町バス発着所」を起終点とする循環バスは、深谷大河ドラマ館や渋沢栄一記念館、旧渋沢邸「中の家」などを運行します。

運行期間 令和4年1月10日(祝)まで

※「深谷駅北口」は降車専用です。ご利用時はご注意ください。

詳しくは上の路線図のほか、深谷大河ドラマ館公式ホームページ、左の『渋沢栄一 関連施設MAP』をご覧ください。

新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします

「郷土の偉人渋沢栄一顕彰×継承プロジェクト」
企業版ふるさと納税大臣表彰を受賞!

問い合わせ 企画課 ☎574-8096

「郷土の偉人渋沢栄一顕彰×継承プロジェクト」は、地方公共団体が行う地方創生事業に対して、企業が寄附すると税負担が軽減される企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用した取り組みで、深谷市は昨年度、全国各地の企業13社から5540万円の寄附をいただきました。

市では、郷土の偉人渋沢栄一翁が残した偉業や功績を顕彰するとともに、その精神を後世に継承する。郷土の偉人渋沢栄一顕彰×継承プロジェクトの取り組みが評価され、全国の自治体の約600の取り組みの中から、特に顕著な功績を上げ、他の模範となる活動を行った地方公共団体(3団体)を表彰する第3回「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」に係る大臣表彰において、内閣府特命担当大臣から表彰されました。

「渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館」の企画運営支援や、旧渋沢邸「中の家」を整備し、観



▲内閣府特命担当大臣から授与された表彰状
 ▶2月1日にオンライン開催された授賞式で発表する小島市長

光資源として活用することで、観光振興および地域の活性化を図るとともに、企業とのパートナーシップを構築しながら、栄一翁のさらなる顕彰活動を推進します。

深谷市親善大使
鳥羽博道氏が『第19回渋沢栄一賞』を受賞

問い合わせ 渋沢栄一記念館 ☎587-1100

深谷市親善大使を務める(株)トルココーヒー鳥羽博道名誉会長が「第19回渋沢栄一賞」を受賞しました。

「渋沢栄一賞」は県が平成14年に創設し、優れた企業活動だけでなく福祉や教育にも力を注いだ渋沢栄一の精神を受け継ぐ全国の企業経営者を表彰する賞です。

鳥羽氏は「コーヒーション」の店頭に募金箱を設置し、集まった寄附金額と同額を会社からも寄附。カンボジアに小学校23校を建設する社会貢献活動を行ったほか、「渋沢栄



▲2月9日にオンライン開催された授賞式の様子

「ブランドロイド」を制作・設置するために、深谷市に1億円の寄附をしたことなどが評価され今回の受賞となりました。

4月から新たに開設!
『深谷東子育て支援センター』 オープン

園学校教育課 ☎572-9578

4月8日(休)から新たに開園する深谷東幼稚園内に『深谷東子育て支援センター』がオープンします。

新しく充実した施設で、子育てについての相談や仲間づくりをしませんか。皆さんのご利用をお待ちしています。

対象 市内在住の未就学児親子
利用時間 月~金曜日(祝日および年末年始を除く) 午前8時30分~正午、午後1時30分~5時
ところ 深谷東子育て支援センター(深谷市立深谷東幼稚園内・深谷市常盤町62-2)
利用定員 10組程度
申し込み イベントなど開催時以外は予約不要

新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします

3月末までにマイナンバーカードの申請をしたかたが対象です！ マイナンバーカードの申し込み

問い合わせ 総務省フリーダイヤル(制度全般やポイント関連) ☎0120-95-0178 ・ ICT推進室(支援) ☎574-8556()



▲総務省HP

マイナポイントとは

マイナンバーカードを使って予約・申し込みを行い、選択した民間キャッシュレス決済サービスを利用(チャージまたは購入)することです。詳しくは、総務省のホームページ(タイトル下のQRコードからアクセス)をご覧ください。

マイナポイント支援コーナー

市ではマイナポイントに関する支援コーナーを設置しています。
受付時間 午前9時～午後5時(正午～午後1時および土・日曜日・祝日を除く) ※木曜日は午後7時まで
設置場所 市役所本庁舎1階市民課待合(西口ビバー南側)

お済みですか？ マイナンバーカードの申請はお早めに！



お問い合わせ 市民課 ☎573-3151
最近、さまざまな場面でマイナンバーカードの提示を求められることが増えています。マイナンバーカードを持つと、『身分証明書』としての利用や今後『インターネットを通じた行政サービス』、『マイナポイントの申し込み(令和3年3月末までにマイナンバーカードの申請をされた場合に限る)』、『健康保険証としての利用』など、活用の場がますます広がっています。申請後カードが作成されるまでに1カ月ほど掛かりますので、余裕を持って申請してください。

【申請方法】

マイナンバーの通知カードと一緒に送られた『交付申請書』をお持ちのかたは、『郵送による申請』または『スマートフォン・パソコン』、まちなかの『証明写真機』で申請できます(ただし、内容に変更がある場合は使用できません)。不明な点は問い合わせ先へ

【マイナポイントの予約・申し込みに必要なもの】

- ①マイナンバーカード
- ②カードを取得した際に設定した暗証番号(数字4桁)
- ③キャッシュレス決済サービスのICカードやクレジットカードなど(事前にアプリの登録やオンラインサイト上の会員登録が必要となる場合があります。)

国民年金からのお知らせ

問い合わせ 熊谷年金事務所 ☎522-5012
保険年金課 ☎574-6641

◎任意加入制度

65歳から受けられる『老齢基礎年金』は20歳から40年間保険料を納めなければ、満額を受け取れません。

納め忘れなどにより保険料の納付済み期間が40年間に満たない場合は、60歳～65歳になるまでの間に国民年金に任意加入し、保険料を納めることで満額に近づけることができます(さかのぼっての加入はできません)。

なお、老齢基礎年金を受ける要件となる『原則10年以上の保険料の納付期間や免除期間』を満たさない場合は、70歳になるまで任意加入できます(昭和40年4月1日以前に生まれたかたに限られます)。

また、海外に在住する日本国籍のかたも国民年金に任意加入できます。

◆保険料：月額1万6540円(令和2年度)
◆申請時に必要な物：年金手帳・印鑑・預貯金通帳・通帳届出印

本人確認書類

※65～70歳になるまでの間に加入する場合、これらのほかに戸籍謄本等が必要となる場合があります。 ※繰り上げ支給を受けているかたは、厚生年金などに加入しているかたは任意加入できません。

◎日本に住んでいる外国人のかたも国民年金に加入します

外国籍のかたであっても、20～60歳未満で日本国内に住所があるときには、国民年金に加入しなければなりません(厚生年金や共済年金に加入しているかたを除く)。住民登録のある市区町村の国民年金担当窓口で加入手続きをしてください。

なお、外国籍のかたが、国民年金保険料を6カ月以上納めて、年金給付を受けずに帰国した場合に、出国後2年以内に請求手続きをすれば、納めた期間に応じて脱退一時金を受けることができます。詳しくは、熊谷年金事務所までお問い合わせください。

市長の深い話

深谷市長 小島 進

企業版ふるさと納税

市の取り組みである『郷土の偉人 沢栄一顕彰×継承プロジェクト』が評価され、企業版ふるさと納税大臣表彰を埼玉県内で初めて受賞しました。地域性や独自性、他の地域への波及性や積極性の観点で高く評価されました。

本市では、市外に本社を置く企業へのプロモーション活動を積極的に進め、多額の寄附をいただきました。市外からの寄附金が、本市の事業や地域の活性化をもたらすことができる貴重な財源となっています。

寄附金は、『沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』の企画



運営支援にも活用しており、ついに放送開始となった大河ドラマ『青天を衝け』の初回視聴率が20.0%(関東地区)と好スタートを切りました。

この勢いに乗り、今後このような制度を積極的に活用しながら、多くのかたに本市に来ていただき、栄一翁の精神に触れ、深谷の魅力を感じていただけるように取り組んでまいります。

去る2月13日に、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生しました。被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。この地震では、栄一翁にゆかりのある福島県白河市の『南湖神社』でも灯籠が崩れるなどの甚大な被害が出ました。

南湖神社は、白河藩第三代藩主で幕府老中としても活躍した、松平定信公を祭っており、令和4年に創建百年を迎える神社です。

松平定信公が行った『七分積金』の積立金を利用し、明治維新後に栄一翁が『養育院』を運営しました。そうした縁から、栄一翁の尽力により、大正11年に創建されたものです。一刻も早い復旧を願っております。

ありがとうの手紙



優秀賞
中学生の部
花屋のおじいちゃんへ

深谷中学校3年(現高校1年) 長岡亮佑 さん

僕の夢は、おじいちゃんが創業してくれた花屋を継ぐことです。

創業当時は色々な苦勞もあったと聞きましたが、今のお店があるのは、おじいちゃんが頑張ってきた成果だと思います。

おじいちゃんはいつも前向きで、物事の先を見て行動する所や、常に周りの人の事を考えている所が、僕がとても尊敬できる所です。

僕はおじいちゃんが創業してくれた花屋をもっと有名にしたいです。これからも体に気をつけて下さい。創業してくれてありがとう。



優秀賞
一般の部
大きな木へ

深谷 栗原順子 さん

祖母の家の大きな木。久しぶりに見上げると枝をいっぱい広げて堂々としています。

子どもの頃、この木を囲んで遊んだことを思い出します。

春 木の前で並んで記念写真 缶けり ゴム跳び だんご虫
夏 木もれ陽 水鉄砲 夕涼み 縁台将棋 火花 蚊取り線香
秋 竹とんぼ 竹馬 焼きいも
冬 凧上げ べいごま 松かざり

遠い昭和の遊びにありがとう。

木の温もりにありがとう。

楽しかったあの日にありがとう。